

地小出版
方小版

情報誌

アクセス

毎月1回	1日発行
購読料	定価 150円 (本体 143円)
	年間 1,500円 (税込み)
振替	00120-0-19017

発行所 (株)地方・小出版流通センター
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

メンバーで家賃をシェア。読書会、DJイベント、
映像上映会、交流パーティ等を開催

Café Lavanderia (カフェ・ラバンデリア)

「いかに伝えるか」の思いを大切に

文・佐藤由美子



新宿2丁目の裏通りのビルの一階。元クリーニング店だった場所を、解体から仲間たちと自力で始め、ほぼ半年がかりで、オープンさせました。店内の壁に並べた本棚に知人たちの蔵書を並べ、入り口辺りには、DJブースやプロジェクター用のスクリーンも設置しました。規模は小さいながら、本、音楽、映像を楽しめる空間作りをしています。

店名のラバンデリアは、スペイン語で「洗濯屋」を意味する古語です。入り口のガラス扉の洗濯屋当時の名残や、こっそりと置いてあるクラシックな業務用霧吹きや木製のがっしりした洗濯板を見つけたときには、この店のルーツが体感できると思います。

ラバンデリアの前身は、「何かが生まれる場所って、こんなところから……」という思いを抱きながら、様々な職種の人々が家賃をシェアすることで、2006年11月に飯田橋のオフィスビルの2階でスタートしたポエトリー・イン・ザ・キッチンです。ここが新宿2丁目という繁華街の路面店に引越が決まったとき、今度は誰でもフラッと入ってこられるようなカフェの形態にすることに決めたのです。

現在、家賃をシェアしているメンバーは、5人。読書会、DJイベント、映像上映会、交流パーティ等それぞれが

この場所を活用しています。

メンバーの一人である私は、2007年に小(一人)出版活動、トランジスター・プレスをスタートさせました。最初に出版したのは、微弱電波をキャッチする紙のラジオ局ラジオピープル・ブックスというシリーズです。普段声が聞きにくい人たちの声に耳を傾け、心を動かされた作品を本にしています。

ポエトリー・リーディングを主な活動場所にしてきた詩人の佐藤わこさんの長編詩『ゴスペル』と詩人の仲光健一さんがメンフィスに留学していた友人に宛てた手紙『黄色い象』の2作品を出版しました。

ミニFMラジオ局、ブックトークやフェアも。様々な可能性に挑戦したい

来年中には実現させたいことは、ラバンデリアがミニFMラジオ局として彼らの声を実際に電波で飛ばすこと。携帯電話で音楽を聞く時代とは逆行していますが、“rain brings an old friend. Open your umbrella.”というラジオピープル・ブックスのスローガンのように、雨が懐かしい友の声を読者に届け、トランジスター・ラジオが雨を受け止める受信機になってくれる、そんなイベントを実現させたいです。

ラジオピープル・ブックスは、逆立ちさせると英語版に变身します。この仕掛けをしたのは、逆さまから世界を見てみることの面白さを伝えたかったのです。偶然、カフェがオープンしたときに最初に開催したイベントは、南米からの移民たちのバンドで、現在バルセロナで活躍しているチェ・スタカカのドキュメンタリー「逆さまに世界を見ている」の上映会でした。移民として逆さまに世界を見ている彼らは、「いつの時代にも移民はいて、現在の世界が混血になったことを人々は覚えていない」と語っています。

私がこのカフェにかけている一番の思いは、インディーズ出版にとって最も大事なことは、「いかに売るか」ではなく、「いかに伝えるか」だということ。だからこそ、様々な可能性に挑戦したい。前述のミニFM局という大掛かりなものだけではなく、ブックトークやリーディング、読書会やブックフェアなどやるべきことは沢山ありそうです。最後にラバンデリアのちょっとめずらしいドリンクメニューについて紹介させて下さい。

●サパティスタ・コーヒー(ホットのみ) ¥300: EZLN(サパティスタ民族解放戦線)の蜂起以来、先住民族の共同体が自律的に維持されているメキシコ・チアパス高地のサパティスタ自治区で生産されたフェアトレード・コーヒー。高地特有のほどよい酸味。

●ウバ紅茶(ホットのみ/スライスしたショウガ付き) ¥300: セイロンティーの産地として知られるスリランカのウバ県で無農薬で栽培されたフェアトレード・ティー。

●パレスチナ産タイベビール(ゴールデン/ダーク) ¥550: キリストが最後に隠れ住んだというタイベ村産のビール。ゴールデンは、ホップの効いた清涼感と新鮮な風味。ダークは焙煎麦芽を使用した滑らかで豊かな風味。

●CNTワイン(赤のみ、グラス)
¥450: スペインのConfederacion
Nacional del Trabajo(全国労働者連合)
が生産している有機ワイン。葡萄の品
種は、100%アナキズム種との記載あり。
それと、「あたり前田のクラッカー」

がビールやコーヒーのお供に人気があ
ります。ラバンデリアは地方、小出版
社にはおなじみの模索舎という書店の
近所です。模索舎に来られたときのコー
ヒーブレイクにぜひお立ち寄り下さい。
(さとう ゆみこ/トランジスター・ブ

レス)

カフェ・ラバンデリア

営業時間: 14:00 ~ 22:00(火曜日定休)

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-12-9

広洋舎ビル1F

TEL: 03-3341-4845

新刊ダイジェスト

※価格は総額(税込)表示です。

『ゲバラの夢、熱き中南米 ー君の星は輝いているか2』 ●伊藤千尋著



キューバ革命から50年。英雄チェ・ゲバラ。祖国アルゼンチンでの次なる革命を夢みながら、ボリビアのゲリラ戦で射殺されてから40年。カストロキューバ国家評議会議長は、戦士は死すとも思想は死なずと述べたが、革命のことなど全く関心もない日本の若者たちまでもが、ゲバラの顔がプリントされたTシャツを着て歩く。どうしてゲバラは、かくまでも人々の心を惹きつけるのか。

今、中南米ではアメリカの支配からの自立が確実に進み、地域の結束が強まっていると著者は云う。現地での生活体験や取材に基づいて、ゲバラの訴えた平等で公正な社会への変革、その夢の実現の様子をレポートしたものである。

◆1575円・四六判・269頁・シネ・フロント社・東京・2009/10刊・ISBN978-4-915576-22-5

『野島康三写真集』 ●野島康三著



大正・昭和と活躍した野島康三は日本の藝術写真のパイオニアの一人である。日本写真史において重要な人物であるが本書が初めての作品集となる。その成果は写真を藝術まで押し上げるに足る写真雑誌『光画』の発行、印刷による複製芸術としての写真の可能性をしめた。また欧州では当然とされていたが当時は藝術と認知されていなかったヌード作品を手がけ、多くの写真家に衝

撃を与えた。影響を受けた写真家に荒木経惟がいる。本書は現存する作品の内119点を時系列に収録。被写体の捉え方も興味深いが、勃興期の写真家ということもあり、プリント方法の変遷による陰影・質感などの違いにも着目したい。

◆4410円・B5判・191頁・赤々舎・東京・2009/7刊・ISBN978-4-903545-43-1

『つむぎの糸 増補改訂版』 ●宮尾登美子著



「權」「春燈」「朱夏」「仁淀川」の自伝的四部作に代表されるように、宮尾文学には故郷・高知の風土や気質が色濃く反映されている。本書は昭和54年から一年間にわたって高知新聞に連載された随筆をまとめ、昭和56年に出版されたものを、高知新聞社創刊百五周年記念事業と著者の菊池寛賞受賞記念とを併せて新たに出版した増補改訂版。土佐を題材にした随筆も多いが、上京して

人気作家となるまでの修業や下積みの話にも心打たれる。新作の随筆やここ数年のうちに高知新聞に掲載されたインタビューや対談など印象的な三編も加え、著者の現在のメッセージも伝えられる。東京作家生活も四十年を経過した著者のますますの活躍が期待される。

◆1890円・四六判・287頁・高知新聞社・高知・2009/9刊・ISBN978-4-87503-415-5

『権力に抗った薩摩人 ー南方ブックレット1』 ●芳即正著



藩政時代南九州の為政者による宗教弾圧のレポート。宗教弾圧といえば江戸幕府によるキリシタンへの弾圧がよく知られているが、本書は中央から離れた薩摩藩で行われていた真宗(浄土宗)に対する禁制と弾圧の一面を綴っている。キリシタン弾圧にかくれ、これまであまり関心のもたれることの少なかった史実について、その禁制の背景や弾圧の実態を掘り起こし明らかにしている。

権力に抵抗し信仰の自由を守りとおそうとする信者の姿が確かな資料と絵図からも読み取ることができる。きびしい弾圧のなかで崇高な抵抗精神を守りぬいたかくれ念佛の信徒がいたということは高く評価されてよい。

◆1050円・A5判・79頁・南方新社・鹿児島・2009/8刊・ISBN978-4-86124-167-3

売行良好書

期間：2009年10月16日～11月15日

[出荷センター扱い] ※税込み価格

- (1)『冷凍しておく、便利なおかず』1260円・ベターホーム出版局
- (2)『原色非実用野鳥おもしろ図鑑』1995円・日本野鳥の会
- (3)『静岡の山城ベスト50を歩く』1890円・サンライズ出版
- (4)『新装版 不思議の国のアリス・オリジナル』2100円・書籍情報社
- (5)『どんぐりの図鑑 フィールド版』1050円・トンボ出版
- (6)『いい会社をつくりましょう。』1260円・文屋
- (7)『機能不全家族』1600円・アートヴィレッジ
- (8)『ことばの贈りもの』1470円・東京子ども図書館
- (9)『生きたい!!!』1300円・リーブル出版
- (10)『殺劫』4830円・中国書店
- (11)『子どもを生きれば おとなになれる』2100円・アスク・ヒューマン・ケア
- (12)『山と水の画家 吉田博』2205円・弦書房



[三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書] ※税込み価格

- (1)『東京かわら版 11月号』420円・東京かわら版
- (2)『安土 信長の城と城下町』2310円・サンライズ出版
- (3)『日本写真集史 1956 - 1986』3990円・赤々舎
- (4)『静岡の山城ベスト50を歩く』1890円・サンライズ出版
- (5)『高尾山と八王子城』735円・揺籃社
- (6)『昭和プロレスマガジン 18』1000円・昭和プロレス研究室
- (7)『殺却 (シャーチェ)』4830円・中国書店
- (8)『清浄なる精神』1890円・信濃毎日新聞社
- (9)『貸本マンガ史研究21』700円・シナプス
- (10)『酒とつまみ 第12号』400円・酒とつまみ社

[ジュンク堂書店新宿店—センター扱い図書] ※センター出荷データより/税込み価格

- (1)『To Do Books No. 2 BASIC MAGIC FASHION BOOK』1000円・イージー・ワーカーズ
- (2)『サムライ・ノングラータ』1890円・フリースタイル
- (3)『ナイトメア・ピフォア・クリスマス』1890円・ビリケン出版
- (4)『酒とつまみ 第12号』400円・酒とつまみ社
- (5)『モジ便り Vol. 2』500円・猿田彩
- (6)『帰ってきちゃった発作的座談会』1575円・本の雑誌社
- (7)『ラップ歌謡大百科』399円・スモール出版
- (8)『音頭大百科』483円・スモール出版
- (9)『日本写真集 1956 - 1986』3990円・赤々舎
- (10)『ポケット判 北九州・筑豊の近代化遺産100選』1500円・弦書房

以下ホームページでも各種情報提供を行っております。ご利用ください。
<http://www.bekkoame.ne.jp/~much/>

トピックス — ★★★

▼『北の発言』が休刊

評論家の西部邁氏が編集長を務める『北の発言』(西部邁事務所刊・600円)が来年1月刊行予定の41号で休刊することとなりました。財政上のことが主な理由のようです。2005年に休刊した『発言者』の後継誌『表現者』(ジヨルダン刊)の姉妹誌という位置づけでしたが、西部氏の郷里北海道を拠点とし、主として北海道の書店さんで販売されていました。なおバックナンバーは今後も引き続き販売していくそうです。

▼『彷彿月刊』が一年後に休刊

古書情報誌の『彷彿月刊』が来年10月号、通巻300号で休刊すると誌上で発表しました。「現在の不況にその理由を求めるわけではありませんが、誌上目録・広告収入、定期購読者数の減少に加え、編集発行人・田村治芳の療養などにより、現体制での刊行維持は困難であるとの結論に至りました。」そう報告されています。休刊後のバックナンバー販売等についてはまったく未定とのこと。

▼沖縄手帳

ずいぶん前のことですが民放の『秘密のケンミンSHOW』というバラエティ番組で沖縄情報満載のご当地手帳「沖縄手帳」が取り上げられたことがありました。沖縄の版元さんから刊行されている「沖縄手帳」を以前からセンターでも取扱ってきました。今年も入荷済み。編集工房東洋企画刊『Okinawa Diary 2010』(A5判1300円)や南山舎刊『八重山手帳2010』(大がA5判1500円、小が135mm×85mmで1000円)等。

郵便販売のご注文方法

◎お名前、お届け先(郵便番号、住所)、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。


◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせていただきます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3～4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。

◎なお書籍お買上総計(税抜き価格)が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせていただきます。

★地方・小出版流通センター

FAX: 03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。



三省堂書店

BOOKS SANSEIDO

神保町本店 4階
地方出版・小出版物フロア

営業時間 10:00 AM ~ 8:00 PM
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
 TEL. 03-3233-3312(代)
 URL. <http://www.books-sanseido.co.jp>

営業の
ごあんない

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

